

平成 28 年度 東京都・葛飾区・墨田区合同総合防災訓練の実施について

東京都は、葛飾区及び墨田区と合同で下記のとおり総合防災訓練を実施しましたので、お知らせします。
なお、本訓練は、九都県市合同防災訓練の東京都会場として実施しました。

1 訓練名

平成 28 年度東京都・葛飾区・墨田区合同総合防災訓練

2 目的

震災時における都、区、各防災機関との連携の強化及び自助・共助に基づく地域防災力の向上を図るため、実践的な訓練を実施する。

3 実施日時

平成 28 年 9 月 4 日（日曜日） 9 時 00 分から 16 時 00 分まで

4 想定

東京湾北部直下地震（マグニチュード 7.3）

5 特徴

- (1) 木造密集地域での火災発生など、地域の被害特性に対応した訓練
倒壊家屋からの救出救助訓練
地域住民による初期消火、救出救助訓練
- (2) 外国人観光客をはじめとする集客施設での避難訓練

6 参加機関・規模

- (1) 参加機関（団体）：約 100 機関（団体）
- (2) 参加人員：約 10,000 名

7 主な訓練会場

- (1) 都立水元公園及び周辺
 - ・警察・消防・自衛隊等の防災機関と危機管理ネットワーク会員都市（ソウル、台北等）の消防隊が連携した救出救助
 - ・ヘリによる救助部隊投入、中層ビルからの救出
 - ・地域住民による倒壊建物からの救出救助・負傷者搬送・応急救護等体験
 - ・電気・ガス・通信等ライフラインの応急復旧
 - ・防災機関による展示
 - ・緊急医療救護所における医療救護班や災害拠点病院と連携した負傷者トリアージ等の医療救護
 - ・参加者全員による地震発生時の安全確保行動の実施（シェイクアウト）
- (2) 東京スカイツリー周辺
 - ・外国人観光客をはじめとする集客施設での避難訓練 など

(3) テクノプラザかつしか

- ・自治体職員、輸送機関、区内高校生による緊急支援物資避難所搬送
- ・検視・検案・身元確認訓練 など

(4) 東水元小学校

- ・被災者生活再建支援システム活用訓練

(5) その他訓練会場

- ・在日米軍基地（ヘリによる支援物資の搬送など）
- ・国営有明の丘防災公園（ヘリによる支援物資の搬送など）

8 訓練の様子

(1) 東京都災害対策本部審議訓練

平成 28 年 9 月 1 日（木）の早朝に東京湾北部を震源とする地震（震源地：東京湾北部、M7.3、最大震度6強）が発生し、各局等、必要な情報収集の後、東京都災害対策本部会議を開催することを想定した訓練を実施しました。

また、東京都災害対策本部室と葛飾区・墨田区各災害対策本部室で、テレビ会議を実施しました。



審議訓練の様子

(2) 地域住民の避難場所への避難訓練

「水元公園・江戸川緑地一帯」避難場所に地区割当が該当する地区の自治町会を対象に、発災直後から避難場所まで徒歩による訓練を実施しました。

発災後、各自治町会が指定した一時集合場所に集合し、情報収集を行い、そこでも延焼等の危険があるとの判断のもと、周囲の危険箇所等を確認しながら避難場所まで移動しました。



避難場所（水元公園）への集合

(3) 住民共助による救護・救助、消火訓練

地震などの大規模災害時には、住民同士がお互いに助け合って、初期消火や救出救助を行う「共助」が非常に重要になります。水元公園自由広場において「共助」をテーマとして東京消防庁・金町消防署・金町消防団が訓練指導の中心となった住民同士による救助、救護、消火の各訓練や水道局による応急給水訓練等の訓練を実施しました。



救助訓練（ジャッキを用いた救助訓練）

(4) 倒壊建物等からの救出救助訓練

首都直下型地震などの大規模災害が発生した場合、木造住宅が密集する地域のほか、高層ビルやマンションなどが密集する地域においても崩壊や火災、道路の陥没などが発生するおそれがあり、ガレキ等の障害物による緊急交通路の不通や家屋倒壊による下敷き、火災による死傷者が多数発生することが想定されています。このため、発災直後における自助・共助による初期消火や救出救助等の活動、そして、各防災機関が連携しての公助活動がきわめて重要となってきます。

今回の訓練では、葛飾区内に多く存在する木造住宅密集地域のほか中層ビルにおいて、火災や家屋倒壊が発生した被災現場を再現し、地域住民自らが避難する自助、近隣住民やボランティア、消防団との連携による初期消火などの共助を実施した後、地元防災機関等による道路啓開訓練、火災延焼阻止訓練、救出救助訓練、医療救護活動訓練を実施しました。



住民避難・誘導訓練



地域住民等による共助訓練



消防団による救助活動



放置車両の除去訓練(警視庁)



ヘリによる部隊投入 (東京消防庁)



火災延焼阻止活動 (東京消防庁)



救出救助活動 (航空自衛隊)



救出救助活動 (陸上自衛隊)



警視庁警備犬による搜索活動



救出救助活動 (警視庁)

(5) 医療救護班活動訓練

地域防災計画（東京都・葛飾区）及び災害時医療救護活動ガイドラインの検証などを行うため、災害拠点病院の敷地内に緊急医療救護所を設置する訓練として東部地域病院、災害拠点病院の近接地に緊急医療救護所を設置する訓練を水元公園青年の家跡地にて実施し、緊急医療救護所の設置・運営状況、トリアージ及び応急処置等の実施状況、救急車等による傷病者搬送状況等について確認しました。

あわせて、葛飾区災害医療コーディネーターを中心とした、緊急医療救護所及び災害拠点病院間での情報伝達や、医薬品・医療物資等の調達の確認を行いました。



トリアージ・患者搬送訓練（東部地域病院）



重症者処置訓練（水元公園）



周産期処置訓練（水元公園）



調剤訓練（水元公園）

(6) 検視・検案、身元確認訓練

テクノプラザかつしかにおいて、検視、検案、身元不明死体に対する身元確認及び火葬許可証交付までの訓練を実施しました。

本訓練は、葛飾区、警視庁、医師会、歯科医師会、歯科衛生士会、東京都監察医務院等の協力の下行われました。

災害時に一人でも多くの生命を救うことは当然ですが、遺体についても死者への尊厳と遺族の感情を十分に配慮する必要があります。各機関は、遺体を収容から火葬まで迅速、かつ、適切に取り扱えるように一連の作業を確認しました。



検視・検案訓練



身元確認訓練

(7) 緊急支援物資輸送訓練

首都直下型地震が発生し、平常時の市場流通機能が被害を受けた場合においても、避難者の生命を守るためには、食料・水等の生活必需品を確保し、迅速かつ的確に避難者へ供給する必要があります。今回の訓練では、都の備蓄倉庫、都内広域輸送拠点、地域内輸送拠点の各結節点を陸上輸送及び航空輸送により接続させ、物資を円滑に避難所に投入するための実施体制について検証しました。



緊急物資搬送訓練（東京臨海広域防災公園）



緊急物資搬送訓練（横田基地）



支援物資の積み下ろし作業



支援物資の運び込み作業

(8) 炊き出し訓練

訓練会場内でカレーライスや五目御飯の炊き出しを実施し、ご来場いただいた皆様に召し上がって頂きました。



陸上自衛隊によるカレー調理



日本赤十字社によるアルファ化米調理

(9) 被災者生活再建支援システム活用訓練

都独自の被災者支援システムを活用し、住家被害の認定から災証明の発行まで、生活再建支援の全体像がわかる訓練を実施しました。



生活再建支援相談体験



り災証明書発行体験

(10) 展示・体験、応急復旧訓練

訓練会場内に各防災関係機関の展示ブースを設置し、一般来場者等を対象に幅広く防災に関する展示・体験型訓練を行いました。また、電気・ガス及び上下水道の各ライフラインに関して、災害時における応急復旧に関する実演型訓練を行いました。



展示ブースの様子



展示ブースの様子



水道施設の応急復旧実演



下水道施設の応急復旧実演

(11) 集客施設からの避難・搬送等訓練

墨田区会場である東京スカイツリー®周辺において、スカイツリー天望デッキ及び4Fスカイアリーナから1Fソラマチひろばまでスカイツリー事業者等による外国人観光客を避難誘導訓練を実施しました。その後、1Fソラマチひろばで墨田区職員等が多言語音声翻訳ツール（メガホンヤク・ペンダント型端末）を使用し、避難者の振り分け・容態確認を行い、負傷者については舟2隻（がれおん・ウォーターウェイズ）で搬送しました。

また、押上駅では修学旅行生（本所高校生）を駅前滞留者対策協議会により、帰宅支援ステーションを開設している都立本所高校まで誘導、その後吾妻橋防災船着場から東京ラインで搬送する訓練を実施しました。

なお、避難誘導訓練実施後には、ソラマチひろばにて防災機関による展示・体験訓練も実施しました。



地上350m天望デッキでの安全確保行動



非常階段を使って、1Fまで避難者が避難



スカイアリーナで本所消防署によるAED講習



負傷者をソラマチひろばまで搬送



メガホン型端末（メガホンヤク）による
避難者への呼び掛け



ペンダント（首掛け）型端末による容態確認



「ウォーターウェイズ」・「がれおん」で
負傷者を搬送



修学旅行生役の本所高校生を
東京水辺ラインで搬送

(12) その他の訓練

ア 航空機を用いた訓練

航空機を活用した訓練として、支援物資搬送訓練、被災状況偵察訓練、部隊投入訓練、中層ビルからのホイスト救助訓練など7機関10機体による訓練を計画していましたが、当日は降雨による視界不良のため、4機体のみの実施となりました。

東京臨海広域防災公園（通称「有明の丘」）では、在日米軍ヘリコプターによる支援物資を搬送する訓点を実施しました。

水元公園中央広場では、東京消防庁ヘリコプターによる部隊投入訓練、東京消防庁及び警視庁ヘリコプターによる中層ビルから要救助者のホイスト救助訓練を実施しました。



米軍ヘリによる物資搬送訓練（東京臨海広域公園「通称 有明の丘」）



東京消防庁による部隊投入訓練（水元公園）



警視庁によるホイスト救助訓練（水元公園）

イ 東京都災害ボランティアセンター運営訓練

災害時に東京都と東京ボランティア・市民活動センターで設置する「東京都災害ボランティアセンター」での情報共有に関する訓練を、さまざまな市民活動団体（NPO・NGO、日本赤十字社、生活協同組合、区市町村社会福祉協議会、青年会議所、企業、民間団体、その他、他県社協・中間支援組織）と共に実施しました。



情報共有訓練